

東濃信金職員 抜き打ち消防訓練

事前通告なしの消防訓練が19日、貴重な陶芸作品を複数所蔵するとうしん学びの丘エール(多治見市虎溪山町)で実施され、東濃信用金庫の新入職員らが初期消火の訓練に当たった。同施設には、とうしん地

域活力研究所のオフィスと研修室のほか、同金庫が買い上げてきた美濃陶芸作品を展示する「とうしん美濃陶芸美術館」も入る。年2



初期消火の訓練に当たる東濃信用金庫の新入職員ら＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

回の消防訓練を行ってきたが、今回は設備の更新に合わせて通常より参加者を拡大して実施した。

2階の研修室で出火したという想定で行い、約40人が参加した。館内に警報が鳴ると、研修中の職員が誘導に従って速やかに屋外へ避難。水を入れた消火器を操作した。多治見北消防署員の指導による自動体外式除細動器(AED)の訓練も行われた。

同研究所エール管理課の曾根康弘専任役は「所蔵品を守る使命のもと、緊張感のある訓練ができた」と話した。(稲木悠司)